



か・かんがえる子  
す・すなおな子  
が・がんばる子

佐世保市立春日小学校

佐世保市瀬戸越3丁目19番1号

校長 稲葉 裕美

児童数 530名 (20学級)

## 事業テーマ

確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きぬく児童の育成

## 目的

### (1) 豊かな心の育成

児童一人一人が自らかかわり活動できる体験活動の場を設定することにより、本校教育目標「確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きぬく児童の育成」の達成を図る。

### (2) 特別支援教育の視点を生かした学校・学級経営

児童一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び適切な支援を行うことで、周囲から認識されていないものの学習や生活に困り感のある児童にも充実した学校生活を送らせながら、生きる力を身に付けさせる。

### (3) 習得と活用を図った学力の向上

朝の時間の活用や習熟度別学習を通して、基礎・基本の定着と個に応じた指導の充実を図ることで、「基礎学力の定着と学ぶ力の育成」を目標とし確かな学力の向上を目指す。

## 実践内容

### Ⅰ 春日っ子「未来デザインプロジェクト」

児童が自らの将来を見据え考えるために以下の活動を実践した。

#### ① ふるさと教育（地域人材等の活用）と体験活動の充実【拡充】

人やもの、ことへの出会い（学年別）

各教科や生活科・総合的な学習の時間の授業等と関連させ、地域の人や仕事、もの、ことと触れ合い、ふるさと佐世保市、ふるさと長崎県を愛する心情を育む。

・各学年における校外活動や講師等の招聘

1年…4月学活「交通安全」(県警)、10月生活科「秋さがし」

12月「生命尊重」(栽培活動) 12月絵本読み聞かせ



2年…6月生活科「町探検」(地域の商店

等) 9月生活科「生命尊重」(栽培活動)



3年…10月社会スーパーマーケット見学

11月食品工場見学、2月ギター演奏鑑賞、  
ギター演奏体験 2月紙芝居「佐世保独楽」(大学生)



4年…6月長崎市平和学習(見学)

アルカスアウトリーチコンサート、  
音楽発表会、山の田水源地見学  
ふるさと環境・自然体験学習、Fun  
English Camp



5年…10月保健「育っていく体」(助産師)、2月保健学習講

話「育っていく体」親子ワークショップ  
(小児科医師)、車いす体験、宿泊体験学習



6年…6月キャリア教育(佐世保在住の絵本作家、メンタ

ー) 12月「薬物乱用防止」(ライオンズクラブ)、  
11月メディア教育(メディア指導員)、修学旅行  
保健学習講話、租税教室



特別支援学級…12月ふれあい作品展に向けての制作活動、1月  
作品鑑賞、通年あさひ農園での野菜等の栽培体験、支援学  
級同士の交流活動



登校支援室…ギター鑑賞、絵本読み聞かせ

全校…避難訓練における煙体験、救助袋による避難（消防署）  
あいさつ運動（長崎ヴェルカ）青少年劇場「101 回  
生きたねこ」 人権トークライブ（どんちゃん）



② 地域ボランティアによる学習支援・学校支援の充実  
（通年）

- 職員以外の大人との関わりからコミュニケーション力の向上と自己肯定感や自尊感情を育む。
- 学習ボランティア…別室登校児童の話し相手、学習の個別支援等
- 学校支援…季節の掲示物作成や生け花による心潤う教育環境整備



③ 異年齢集団活動を重視した特別活動の充実

- 児童会縦割り班活動を通し、異学年とのふれあいやつながりをもち、豊かな心を育てる。
  - ・ふれあいまつり（縦割り班で協力する活動（11月）
  - ・縦割り栽培活動（卒業式に向け、プランターの花を育てる）（12月）（全学年：秋～春期）
- 園芸委員会の活動を通して、栽培活動の体験や自然愛護の心情を高め、校内環境の充実を行う。  
（園芸委員会 通年）
- 人権・平和委員会が計画する集会活動を通して、児童が主体となり、平和や人権について全校で考える充実した集会活動とする。（人権・平和委員会 6・8・12月）



## (2) 春日っ子「学びの場づくりプラン」

多様な児童が多様な形で学ぶために以下の活動を実践した。

### ① 特別支援教育の視点を生かした個別支援体制の強化

- ・プレイルーム（心のケア）…在籍学級で学んでいるが不安定な児童の心の支えとなる関わりづくり



- ・なのはな教室（登校支援）…パーテーションを利用し個別スペースと共有スペースに分け個々のペースに合わせた学びの場の充実



- ・ステップルーム、スマイルルーム（個別学習）…刺激を少なくし少人数で落ち着いて学べる環境づくり（教材教具の補充）



- ・文字指導、数感覚育成のための教材準備

### ② 多様な児童への対応等についての職員研修の充実（職員対象 年1回程度）

- 校内研修等において職員研修のための講師を招聘し、児童理解や特別支援教育、個に応じた指導の在り方などについて学ぶ機会を設ける。



### ③ 基礎的学力の確実な定着（全校共通の取組）

#### ○読書活動の推進

- ・「朝の読書タイム」（8：25～8：35 月曜日の週1回 通年）各自が好きな本を静かに読む。
- ・図書室の活用（通年）
- ・できるだけ学校司書の勤務日に図書室利用時間割を組む。
- ・常に本を手元に置き、隙間時間にいつでも読めるようにする。
- ・読書推進期間やカード等を活用し、読書冊数増を目指す。



#### ○学力の定着を図る朝の学習活動

- ・「スキルタイム」（8：25～8：35 火・木曜日 通年）

- ・スキル教材を使用し算数の計算と国語の言語・表現能力の向上を目指す。
- ・国語の教科書や音読教材を使い、国語の言語・表現能力の向上のため音読の指導を行う。
- ・「ワーク・コグトレ」（８：２５～８：３５ 金曜日の隔週 通年）
- ・発達段階にあったワークショップを行い、学級内のつながりや人権感覚を養ったり、認知機能強化のためのトレーニングを行ったりする。

④ 学カテストによる基礎学力の定着度の検証

- １２月に２・３年生の学カテストを実施し、学習内容の定着を確認・補充する。

⑤ 家庭学習の充実（全学年 通年）

- 児童が授業と関連させながら主体的に家庭学習に取り組むための手立てを校内研修等で検討し、学びの手立てとなる教材等を活用する。